

# 理知の杜日本語学校千葉校

令和6年度

自己点検・評価

実施：令和7年4月1日

## [実施時期]

- ▶ 毎年3月末（年1回）

## [実施方法]

- ▶ 全教職員（※）が「点検評価項目」に基づいて点検評価を行い、校長に提出する。
- ▶ 提出された点検評価を基に、校長主導で点検評価に関する会議を3月末に実施し、課題・問題の解決策などを検討する。
- ▶ 校長は、点検評価および会議の結果を、報告書として作成する。
- ▶ 作成した報告書は、毎年5月末までに学校HPで公開する。
- ▶ 校長は、作成した報告書を設置者等に報告するとともに、課題等を解決するための取り組みを進めるにあたり、設置者等による支援や意見を受け、課題解決に反映させる。

※非常勤教員による評価がそぐわない以下の評価項目については、非常勤教員を除いた、常勤教職員が点検評価を行うこととする。

5. 学生支援
  - (1) 学生支援
  - (2) 進路に関する支援
  - (3) 入国・在留に関する指導及び支援
7. 入学者の募集と選考
8. 財務

## [点検評価]

- ▶ 各点検・評価項目は以下の5段階で行う。
  - A：「達成されている」若しくは「適合している」
  - B：「概ね達成されている（適合している）が、不十分なところが残っている」
  - C：「未達成（未適合）」だが、「達成」若しくは「適合」になるために取り組んでいる
  - D：「未達成」若しくは「適合していない」今後の課題である
  - X：該当しない

## 1. 教育の理念・目標

1-1 理念
国際化社会においてはさらなるグローバル化が進んでいるが、その中で必要不可欠なことは、国家間の平和的かつ友好的な関係の構築であり、民間（一般）レベルでの深い理解もその一端を担うと考える。日本語の修得を希望する海外の優秀な人材を受け入れ、日本語教育を通して日本に対する深い理解と深い相互理解のもとに、国際交流が図れる人材を育成し、日本のこれからの発展に貢献していく。
1-2 教育目標
日本の高等教育に進学を希望する外国人留学生に対して、日本語で不自由なくコミュニケーションが図れる日本語能力を育成し、日本の文化や習慣などの日本教育を通して日本に対する理解を深め、高等教育に進学させること及び国際文化交流に寄与する人材を育成することを目的とする。

[A] 1-3 理念と教育目標が、社会の要請に合致していることを確認している。

[A] 1-4 理念と教育目標が、教職員及び学生に周知されている。

まとめ	課題及び改善内容
理念、教育目標については教職員、学生共に理解をしている。ホームページにも掲載をしており学外へ発信している。	引き続き、上記の理念、教育目標に沿った教育活動に一層取り組んでいく。 都度、教職員や学生に対して周知をしていく。

## 2. 機関運営

[ A ] 2-1 日本語教育機関の告示基準に適合している。

[ A ] 2-2 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。

[ A ] 2-3 管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営が行われている。

[ A ] 2-4 意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している。

[ A ] 2-5 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。

[ A ] 2-6 外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある。

[ A ] 2-7 学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。

[ A ] 2-8 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。

[ A ] 2-9 業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。

まとめ	課題及び改善内容
運営方針、経営目標のもと、全職員が一丸となり、日本語教育を行っている。	より良い学校運営ができるよう、意識を高めて教育活動にあたっていく。

### 3. 教育活動

#### (1) 教育活動の計画

[ A ] 3-1-1 理念・教育目標に合致したコース設定をしている。

[ A ] 3-1-2 教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。

[ B ] 3-1-3 国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている。

[ A ] 3-1-4 教育目標に合致した教材を選定している。

[ B ] 3-1-5 補助教材，生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに，著作権法に留意している。

[ A ] 3-1-6 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。

[ A ] 3-1-7 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。

まとめ	課題及び改善内容
授業は体系的に編成されたカリキュラムを基に、毎月のスケジュールを決め、日々学習を進めている。	補助教材の出典の明記、著作権法の留意には、認識が甘い部分があるため、周知徹底していく。

## (2) 教育活動の実施

- [ A ] 3-2-1 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。
- [ A ] 3-2-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。
- [ A ] 3-2-3 計画を立てて授業を行っている。
- [ A ] 3-2-4 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。
- [ A ] 3-2-5 理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っている。
- [ B ] 3-2-6 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っている。
- [ X ] 3-2-7 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている。

まとめ	課題及び改善内容
入学前、来日後に試験を行い、レベルに応じたクラスに在籍できるようにしている。定期試験および小テストも行い、日本語レベルの確認を行っている。	特定の支援を必要とする学習者はまだ受け入れたことがないが、受け入れを想定して、支援の在り方を考えたい。

## (3) 成績判定と授業評価

- [ B ] 3-3-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また、判定基準と方法を開示している。
- [ A ] 3-3-2 成績判定結果を的確に学生に伝えている。
- [ B ] 3-3-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。
- [ B ] 3-3-4 授業評価を定期的実施している。

[ A ]3-3-5 評価体制、評価方法及び評価基準が適切である。

[ A ]3-3-6 学生による授業評価を定期的に行っている。

[ A ]3-3-7 授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。

まとめ	課題及び改善内容
年度末に学生に、授業および教員に関するアンケートをとり、教育内容の改善に取り組んでいる。	学生のアンケート結果をもとに教員の授業内容の改善に取り組んでいるが、不十分であるため、改善方法をさらに具体化し実践することが必要である。

#### (4) 教育活動を担う教職員

[ A ]3-4-1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。

[ A ]3-4-2 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している。

[ A ]3-4-3 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。

[ B ]3-4-4 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組をしている。

[ B ]3-4-5 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。

[ A ]3-4-6 教員及び職員の評価を適切に行っている。

まとめ	課題及び改善内容
教育の質を高めるため、常に教員同士で担当クラスの状況を報告し合い、レベルに応じた指導方法を考えている。	お互いの授業を見学し合うなど、より良い改善が見られるように努力していきたい。

--	--

## 4. 学修成果

[ A ]4-1 入学から修了・卒業までの学習成績を記録，保管し，適正に管理している。

[ A ]4-2 修了・卒業の判定を適切に行っている。

[ A ]4-3 日本留学試験，日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。

[ A ]4-4 卒業又は修了後の進路を把握している。

[ B ]4-5 卒業生及び修了生の状況を把握するための取組を行い，進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。

まとめ	課題及び改善内容
学内の学習成績及び外部試験の結果は、記録、保管し、厳重に管理している。	修了後の学生の様子を知ることができるように、進学先の学校と連携し、関係を築いていきたい。

## 5. 学生支援

### (1) 学生支援

[ A ]5-1-1 学生支援計画を策定し，支援体制を整備している。

[ A ]5-1-2 生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限を明確化している。また、これらの者を学生及び教職員に周知している。

[ A ]5-1-3 日本社会を理解し、適応するための取組を行っている。

[ A ]5-1-4 留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的に実施している。

[ A ]5-1-5 住居支援を行っている。

[ A ]5-1-6 アルバイトに関する指導及び支援を行っている。

[ A ]5-1-7 健康、衛生面について指導する体制を整えている。

[ A ]5-1-9 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。

[ B ]5-1-11 危機管理体制を整備している。

[ A ]5-1-12 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的に実施している。

[ A ]5-1-13 気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している。

まとめ	課題及び改善内容
管轄の警察署、市役所の方に本学にて災害時の避難方法、経路を学生に指導していたが、避難場所の確認も行っている。休日、夜間は学生寮に職員は常駐していないが、何か緊急事態が発生した場合は、すぐに駆け付けることができる体制をとっている。	学生保険に加入しているが、現行のものに追加して保証があったほうが望ましいため、変更を検討している。

## (2) 進路に関する支援

[ A ]5-2-1 進路指導担当者を特定している。

[ A ]5-2-2 学生の希望する進路を適切に把握している。

[A ]5-2-3 進学に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。

[A ]5-2-4 入学時からの一貫した進路指導を行っている。

まとめ	課題及び改善内容
普段から学生とコミュニケーションをとりながら、興味のある分野を把握している。担任教員を中心に、教員全体で進路指導を行っている。	図書室で進路に関する資料を閲覧できるようになってはいるが、より学生が検索しやすいような工夫が必要である。

### (3) 入国・在留に関する指導及び支援

[A]5-3-1 入管事務担当者を特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。

[A]5-3-2 担当者は、研修受講等により最新、かつ、適切な情報取得を継続的に行っている。

[A]5-3-3 地方出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置している。

[A]5-3-4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。

[A]5-3-5 在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。

[A]5-3-6 在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。

[A]5-3-7 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。

[A]5-3-8 過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。

まとめ	課題及び改善内容
-----	----------

<p>オーバーワークにならないように毎月、申告書の提出を依頼している。 違反行為について徹底して指導をしている。</p>	<p>教職員・事務員・学生間でのコミュニケーションを怠ることなく、学生の状況を引き続き把握するように取り組む。</p>
--	---

## 6. 教育環境

[A]6-1 教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。

[A]6-2 授業時間外に自習できる部屋を確保している。

[A]6-3 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。

[A]6-4 視聴覚教材や IT を利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。

[A]6-5 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。

[A]6-6 同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。

[A]6-7 法令上必要な設備等を備えている。

[A]6-8 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。

[C]6-9 バリアフリー対策を施している。

まとめ	課題及び改善内容
<p>学校内については各基準に適合している。 寮を含め施設の老朽化もあることからまめな点検を行っている。</p>	<p>施設内の点検、整備を引き続き継続することと、バリアフリー対応についても今後の課題としていく。</p>

## 7. 入学者の募集と選考

[A]7-1 理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。

[A]7-2 機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。

[A]7-3 教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。

[A]7-4 海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。

[A]7-5 入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。

[A]7-6 学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うよう努めている。

[A]7-7 入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。

[A]7-8 入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。

[A]7-9 関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている。

まとめ	課題及び改善内容
募集要項に必要な情報を記載している。 エージェント間でも入学後のトラブルがないようにこまめの情報提供を行っている。	様々な国の学生を募集できるように、今後は多くのエージェントともコミュニケーションを取り、学校の活性化を図る。

## 8. 財務

[A]8-1 財務状況は、中長期的に安定している。

[A]8-2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。

[A]8-3 適正な会計監査が実施されている。

まとめ	課題及び改善内容
-----	----------

学校法人を通し適正な会計監査が実施されている。予算・収支計画は有効かつ妥当なものである。	校舎の修繕等、安全上必要であるものは優先的に検討していく。
--	-------------------------------

## 9. 法令遵守

[A]9-1 法令遵守に関する担当者を特定している。

[A]9-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。

[A]9-3 個人情報保護のための対策をとっている。

[A]9-3 地方出入国在留管理局、その他関係官公庁、日振協等への届出、報告を遅滞なく行っている。

まとめ	課題及び改善内容
各法令に遵守して運営しており、各関係区官等への届出、報告を遅延なく行っている。出入国在留管理庁、東京出入国在留管理局の規定についてもこまめに確認をしている。	引き続き、出入国管理局の定める規定に従い、適切な情報管理を継続していく。

## 10. 地域貢献・社会貢献

[A]10-1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。

[A]10-2 学生ボランティア活動への支援を行っている。

[B]10-3 公開講座等を実施している。

まとめ	課題及び改善内容
団地や地域の方と、無料の料理交流会を通して多国籍文化交流としてのボランティア活動を行った。学生の国の紹介など積極的に行い、交流を深め地域貢献となった。	今後は地域のゴミ拾いなどに積極的に参加し、社会貢献・地域貢献の活動を行っていく。